



—いのち、くらし、平和が大事！—
日本共産党京都市議会議員

山本 陽子

活動ニュース



VOL.100
2022年11月20日号

〈連絡先〉
日本共産党
山科区生活相談所
山科区西野大手先 8-8
☎ 595-8342

今より高い高層ビルは、本当に山科に必要なもの？ ～都市計画の見直し(案)の説明会～

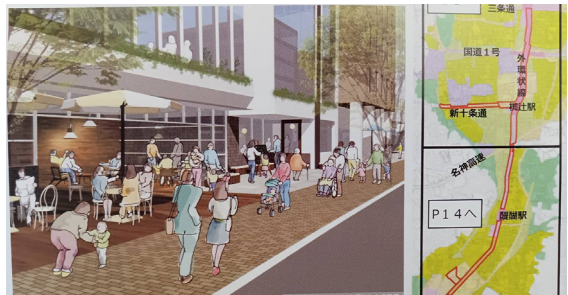
— 11月10日、山階小学校で都市計画の見直しの市主催の説明会が行われ、参加しました —

◀都市計画の見直しの内容▶

外環状線沿いの山科駅から栂辻駅までを、要件を満たせば、高さを無制限とするものです。※京都市からは人口減少、若者・子育て世帯の市街流出に歯止めをかけるため、賑わいの創出、セットバックなどで歩行空間を創出すれば高層ビルが建てられるようにする、という説明がありました。

◀参加者からの質問・意見▶

▶「都心部の熱を受け止める新たな拠点の形成」とあるが、「熱」とは一体何か？市内中心部でホテルや宿泊施設ができて不動産バブルになっていることか？住民的には地価高騰や立ち退きで人が住めないまちになっている。それを良しとするのか？
⇒〈市〉「熱」とは「活気、活力」のこと。わかりにくい表現で申し訳ない。便利などころに住んでいただけるようにしたい。



◀市が都市計画見直しでめざしている沿道の絵▶
百年先に残したい山科の街並みはどんな街並みなのでしょう？コンクリートの壁ではなく、景観を守る木造の中低層ビルなどがむしろ先進的なのではないでしょうか？

▶「ふるさとの会」で、山科の歴史、史跡、文化を研究し活動している。区長にも評価してもらっている。このまちに思いを持っている私たちは、山科に高層ビルを建ててほしいと言ったことはない。私からすれば、山科のまちを壊そうとしている計画だ。

⇒〈市〉山科は自然も多く、区内で住み替える人も多い。住宅が周辺へ拡大していったが、狭い道路などまちづくりの課題もある。利便性の高いところへ誘導したい。

▶駅周辺部などに主要な施設や住宅を集中させるコンパクトシティの考えか？コンパクトシティの本来の考えは公共交通の利便性を高めて、ネットワークをしっかり作ることであって、主要施設の集約ではない。

⇒〈市〉コンパクトシティの考えをもとにしている。歩いて暮らせるまちになるという考え方だ。

▶山科にも公園や図書館やコミュニティスペースを増やしてほしい、というのが願い。周辺部を放置しておいて、高層ビルを建てたら活力が出るとは浅はかだ。交通不便、買い物不便もなかなか解消されない。山科をよくするためにもっと住民の声を聞いて、何が必要か、課題を分析してほしい。

⇒〈市〉理解している。おっしゃる通り、やらなければならないことはたくさんある。

▶回覧板で意見募集の冊子が回っていたが、どれだけの人が理解したか。この場の参加者は30人ほど。広い体育館の会場にしてはガ

ラガラ。期間が短く、市民が知らないまま進めていいのか？もっと説明会をすべきでは？
⇒〈市〉ご意見は承った。回覧板、市民新聞、京都新聞、ツイッターで周知した。

▶京都市の財政が厳しいなかで、このような計画は大丈夫か？無駄な支出が目立つ。

⇒〈市〉市のキャラクター100種、漆塗りのエレベーターなどご意見あるのは承知している。市民に理解されていないことは申し訳ない。

【私の感想】 短期間で決めることではない、というのが私の感想です。京都市の一律の政策として議論するのではなく、地域に住まう住民がしっかり情報を得て、議論もして、多くの住民が願うまちづくりが求められています。願いが実現すれば若い世代も増えます。高さ規制を緩和してよろこぶのはビル建設で儲ける市外の手デベロッパや大手不動産会社だけ。市長の意図はそこにあると思わざるをえません。

山階小学校 150周年記念 山階南小学校 50周年記念



コミュニティにとって、小学校は大切な場所。だから、地域の住民あげてお祝いです！



防災訓練
〈音羽川学区、西野学区、百々学区、勤修学区〉3年ぶりの開催。地域コミュニティの連携が必要で訓練は重要です。西野学区では別の日に1町内会だけで防災訓練をするところもあるそうなので、また伺いたいです。

ヨークの ママチャリ子育て日記

ジェンダー乗り越える生徒会長立候補



娘が中学校で生徒会長の選挙に立候補しました。残念ながら、当選はしませんでした。良い経験にはなったのではないのでしょうか。一分訴えの生放送、応援弁士もいたようです。「どんなことを訴えたの？」(興味津々)と聞くと、恥ずかしい、と言いながら、「生徒みんなで作る学校にしていきたい」ということを訴えた、と言っていました。生徒会長に立候補したのは、女子が二人、男子が一人。前期生徒会の役をしていたその男子が当選したようです。それにしても女子二人、と多いのに、時代の趨勢を感じます。私は小学校で会長に立候補しましたが、男子が当選でした。中学校では副会長になりましたが、男子が会長でした(会長は男子、副会長が女子、という暗黙の了解がありました)。女子のやる気が世の中を変えていく！時代は少しづつ、動いています。前向きに挑戦する女子が増えていけば、社会も変わっていくことですね！

